

2004年7月1日
日本銀行山形事務所

全国企業短期経済観測調査結果（2004年6月調査）
山形県内分

1. 業況判断 前回3月調査比ほぼ横違い。先行きは悪化を予想（3月 9
6月 10 9月 20）

製造業：一部に新規受注増から改善した先もみられるものの、電気機械が販売価格下落からプラス幅が縮小したほか、大方の業種で概ね横違い圏内に止まったことから、前回調査比ほぼ横違いとなった。

先行きについては、素材関連など一部で改善を予想しているものの、一般機械、輸送用機械が素材価格上昇懸念などから、電気機械が先行きの需要鈍化懸念などから悪化するため、再びマイナスとなる予想（3月9 6月8 9月 2）

非製造業：建設・不動産が受注減少から、卸・小売が売上減少から再び悪化したものの、電気・ガスがコスト削減効果から、一部サービス関連が売上増から改善したため、前回調査比僅かながらも改善した。

先行きについては、建設・不動産が受注減少懸念から大幅悪化を予想しているため、再び悪化する予想（3月 36 6月 34 9月 45）

2. 売上高・経常利益 2003年度は売上高がほぼ横違いながら経常利益が前回調査比大幅上方修正され前年度比2割の増益。
2004年度は売上高、経常利益ともほぼ横違いとなる計画。

（2003年度実績）

製造業：売上高は食料品等が減少したものの、電気機械等の増加から小幅増収となった。経常利益は電気機械、輸送用機械等で前回調査比上

方修正され大幅増益となったことから前年度比約 5 割増となった
(売上 +6.2%、経常利益 +47.1%)

非製造業：売上高は運輸等が増加したものの、建設・不動産、卸・小売が減少したことから小幅減収となった。経常利益は前回調査比上方修正されたものの、建設・不動産、卸・小売を中心に大幅に減少したことから前年度比大幅減益となった(売上高 5.0%、経常利益 26.2%)

(2004 年度計画)

製造業：売上高は電気機械、輸送用機械等が減少することから小幅減収となる計画。経常利益も大方の業種で減益を予想しており小幅減益となる計画(売上 2.2%、経常利益 4.5%)

非製造業：売上高は建設・不動産等で減少するものの、卸・小売等で増加を予想していることから僅かながら増収となる計画。経常利益は、運輸等が減少するものの、卸・小売等が増加を予想しており、前年度比 2 割増となる計画(売上高 +0.8%、経常利益 +20.8%)

3. 設備投資 2003 年度は前年度比約 7 割増加。2004 年度は前年度比約 2.6 倍と著増する計画。

(2003 年度実績)

製造業：電気機械を中心に前回調査比上方修正され前年度比約 8 割の大幅増加(+78.5%)

非製造業：情報通信で一部の先が大口投資を実施したことなどから前年度比 3 割の増加(+31.1%)

(2004 年度計画)

製造業：電気機械の能力増強投資を中心に引続き増加しており、一部で大規模な投資を実施することもあるとあって前年度比約 2.8 倍と著増する計画(+184.4%)

非製造業：情報通信で大口投資が続くことに加え、卸・小売等が増加することから前年度比約 3 割増となる計画(+27.9%)

以上